

市や議会に対する

市民皆さまの思いを紹介



若い力で農業に挑戦

道を挟み、ずらっと並ぶ大きな葉。葉たばこ畑が広がっていた私の生まれ育った地域は、この1年で地域の景観ガラッと変わりました。昨年秋の葉たばこ廃作農家募集に、豊後大野市内の葉たばこ農家の7割が廃作を決め、ピーマン、さといも、かんしょなどに転作しました。それでも遊休農地、耕作放棄地が増えてきたのも、もう一つの事実です。

私の家は、葉たばこ、かんしょを栽培する専業農家です。ここ数年の異常気象などによる葉たばこの品質低下、それに伴う価格低下などで思うように収益が上がりません。それでも、引き続き葉たばこを作ると決意した父親の意思を無駄にしないように、私も後を継いで頑張りたいと思っています。

そのためにも、農業大学校でしっかりと知識や技術を身につけるため頑張っています。

卒業後は、若い力で新たなことに積極的に挑戦し、豊後大野市の基幹産業である農業を活気づけ、成長させることができるよう頑張りたいと思います。



大分県立農業大学校 2年

きづ ふみ ひろ
木津 文裕

豊後大野市と出会って



大分県立農業大学校 2年

いと やま えり な
糸山 恵理奈

実家の福岡を離れ、私が大分県立農業大学校で酪農を専攻するようになって、早くも1年がたちました。人や自然に恵まれた環境の中、充実した毎日を送っています。

豊後大野市には、原尻の滝や内山観音など多くの観光地があります。昨年の6月には白山川で、生まれて初めてホテルを見ました。観光地だけではなく、自然の素晴らしさにも圧倒されました。

しかし、県外にいた私は、こういったことを知る機会がありませんでした。このような豊後大野市の魅力を県外の方々に知ってもらえる機会があれば、観光客だけでなく、移住者が増えることで、より活気に満ちあふれるのではないかと思います。

また、私は豊後大野市に拠点を置く農業大学校の存在意義を伝え、農業の良さを大分県全体にもっと知ってもらいたいと思います。そして、少しでも農業に興味を持ってもらえたら幸いです。

かわいい牛と共に、農業を楽しみながら勉学に励み、将来は農業という職業に誇りを持てる立派な社会人になりたいと考えています。

広報編集特別委員会
委員長 小野 泰秀
副委員長 神志那 文寛
委員 佐藤 徳宣
佐藤 辰己
和田 哲治
沓掛 義範

議会を傍聴してみませんか？

9月定例会は、9月上旬に開会予定です。

詳しくは議会事務局 Tel 0974-22-1001 へ